

六ヶ所再処理工場及びMOX燃料工場の現状について

1. 再処理工場の現状について

(1) 工程

- ・アクティブ試験 : 平成18年3月31日開始
- ・しゅん工 : 平成22年10月予定

(2) 平成22年度の再処理計画

- ・平成22年度は、約80トンUの使用済燃料を再処理する計画。この結果、約0.5トンの核分裂性プルトニウムを回収する見込み。(下表参照)

再処理量	核分裂性プルトニウム回収量
約80トンU 〔北海道電力 約14トンU 東京電力 約13トンU 中国電力 約17トンU 四国電力 約18トンU 日本原電 約18トンU〕	約0.5トン

- ・平成21年度末においては、使用済燃料の再処理量が約425トンU、核分裂性プルトニウムが約2.3トン。(次ページ参照)

2. MOX燃料工場の現状について

(1) 工程

- ・しゅん工:平成27年6月予定

(2) 概要

- ・最大加工能力 130トンHM/年。(HM:MOX燃料中のプルトニウムとウランの金属成分の重量)
- ・再処理工場のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の南側に設置。
- ・原料MOX粉末は、再処理工場のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋から受け入れ。

(3) 現状

- ・平成17年4月20日に核燃料物質加工事業許可申請(平成19年2月20日、5月18日、平成20年10月7日、平成21年4月16日、6月26日および12月4日に一部補正)を行い、現在、二次審査中。

以上

【参考】

平成18年度～平成21年度における使用済燃料の再処理量および回収される核分裂性プルトニウム量を以下に示す。

	再処理量 (トンU)	核分裂性プルトニウム回収量 (トン)
平成18年度	約140	約0.7
平成19年度	約181	約1.1
平成20年度	約104	約0.5
平成21年度	0	0
合計 (平成21年度末)	約425	約2.3